

スノーマックⅡ SS-3001

ワイヤレスリモコン

(型) SS-3001-MRC

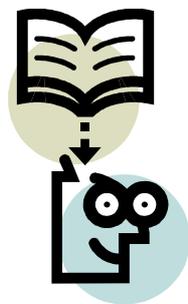
取扱説明書

製品の接続・操作・故障に関するお問い合わせやご質問は
弊社サービスまでご連絡ください。

大成電気株式会社 EC システム事業部
札幌市北区屯田8条7丁目1番34号
TEL 011-792-5120
FAX 011-792-1554
URL <http://sapporo.taiseidenki.net>

目 次

お取扱上のご注意	．．．	3
1. 仕様・同梱品	．．．	4
2. 各部の名称と働き	．．．	5
3. 機器の取付け・接続		
(1) リモコン部	．．．	6
(2) レシーバー部の設置と注意事項	．．．	7
(3) レシーバー部の配線・接続	．．．	8
4. 試運転確認の方法	．．．	9
5. 操作の仕方		
(1) 自動運転モードに設定する	．．．	10
(2) 手動運転モードに設定する	．．．	11
(3) 停止モードに設定する	．．．	12
(4) タイマーモードに設定する	．．．	13
6. 外形寸法図	．．．	14
7. トラブルシューティング	．．．	15



お取り扱い上のご注意

- ・ この度は、ワイヤレスリモコン（型）SS-3001-MRCをお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。本製品はスノーマックⅡ（型）SS-3001の専用のワイヤレスリモコンです。
- ・ ご使用前に、この「お取り扱い上のご注意」をよくお読みの上、正しくご使用ください。
- ・ ここに示した注意事項は、お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- ・ 本紙では注意事項を下記のような区分で示しています。

 危険	この表示は、取扱いを誤った場合「死亡又は重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
 警告	この表示は、取扱いを誤った場合「死亡又は重症を追う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示は、取扱いを誤った場合「障害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

 警 告	
	配線工事や点検を行う場合、必ず元電源を切ってから行って下さい。誤って端子台等に触れると感電することがあり大変危険です。
	電源プラグをコンセントから抜く場合、ぬれた手でプラグを触らないでください。感電する恐れがあり大変危険です。
	本装置を改造しないで下さい。誤動作するだけでなく、思わぬ事故につながり大変危険です。
	取付、配線工事は専門の資格、技術が必要です。施工は説明書にしたがって専門の施工店で行って下さい。漏電や火災の原因となり大変危険です。
 注 意	
	各装置は説明書の使用条件を守り、指定の条件範囲で使用してください。故障の原因となります。
	ダイヤル操作は手で行い、無理な力を加えない様ご注意ください。故障の原因となります。

1. 仕様・同梱品

◆ ワイヤレスリモコン（型）SS-3001-MRC

一般仕様

項目	操作リモコン部 SS-3001-MRC-S	レシーバー部 SS-3001-MRC-R
電源電圧	DC3V（単三アルカリ電池2本）	DC12V（本体より供給）
消費電力	100mA以下（電源ON時）	50mA以下（電源ON時）
材質	ABS樹脂	ABS樹脂
重量	160g（単三電池2本含む）	100g（1mケーブル含む）
色調	ライトグレー系	ライトグレー系
仕様環境	使用温度：-20℃～+45℃ 使用湿度：35%～85%	使用温度：-20℃～+45℃ 使用湿度：35%～85%

無線仕様

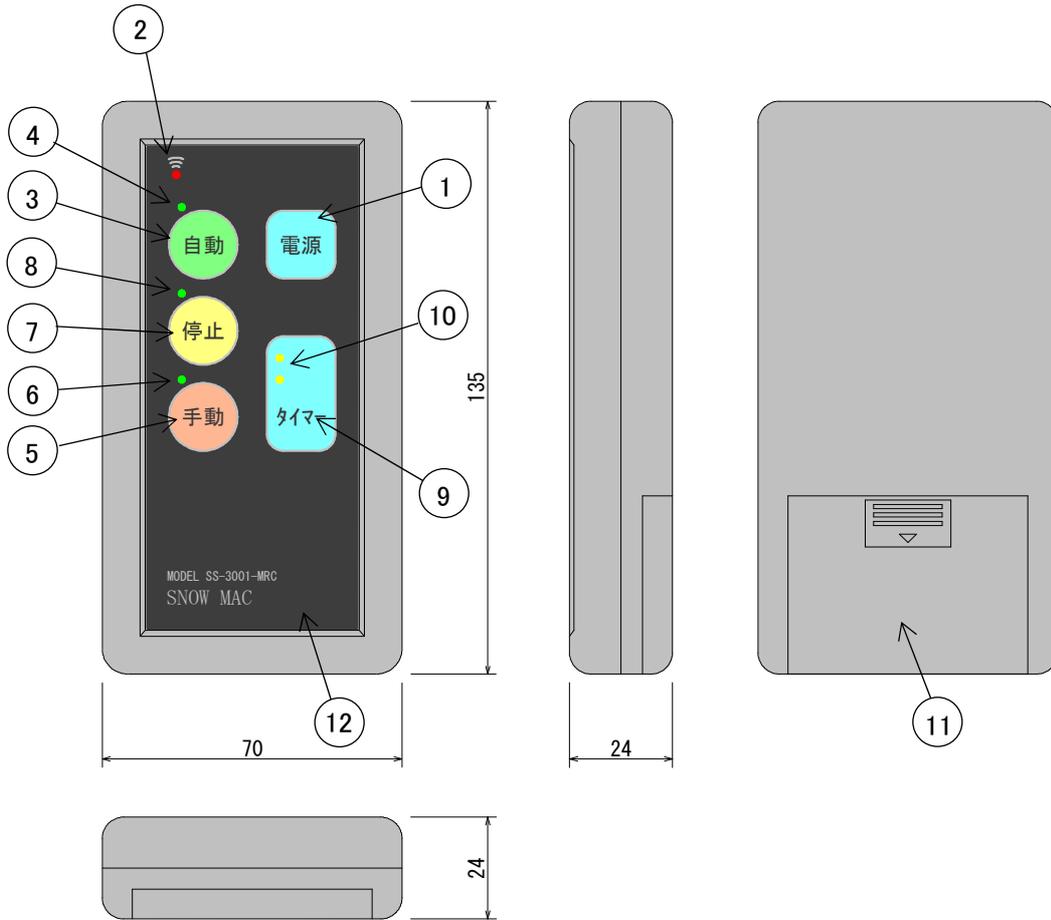
項目	仕様	備考
無線の種類	特定小電力	データ伝送用
通信距離	約100m	見通しの良い直線距離にて
電波出力	10mW	
使用周波数	429MHz帯	40chの内の1波を使用可能

同梱品

リモコン部	SS-3001-MRC-S	1台
単三電池	単三アルカリ電池	2本
レシーバー部	SS-3001-MRC-R	1台（ケーブル1m付き）
レシーバー取付ブラケット	MRC-RB	1台（（+）Aナベ4-20×2本）
リモコン取付ブラケット	MRC-SB	1台（（+）Aナベ4-20×2本）
取扱説明書	SS-3001-MRC	2016.12.10版

※リモコン取付ブラケットは同梱とする

2. 各部の名称と働き

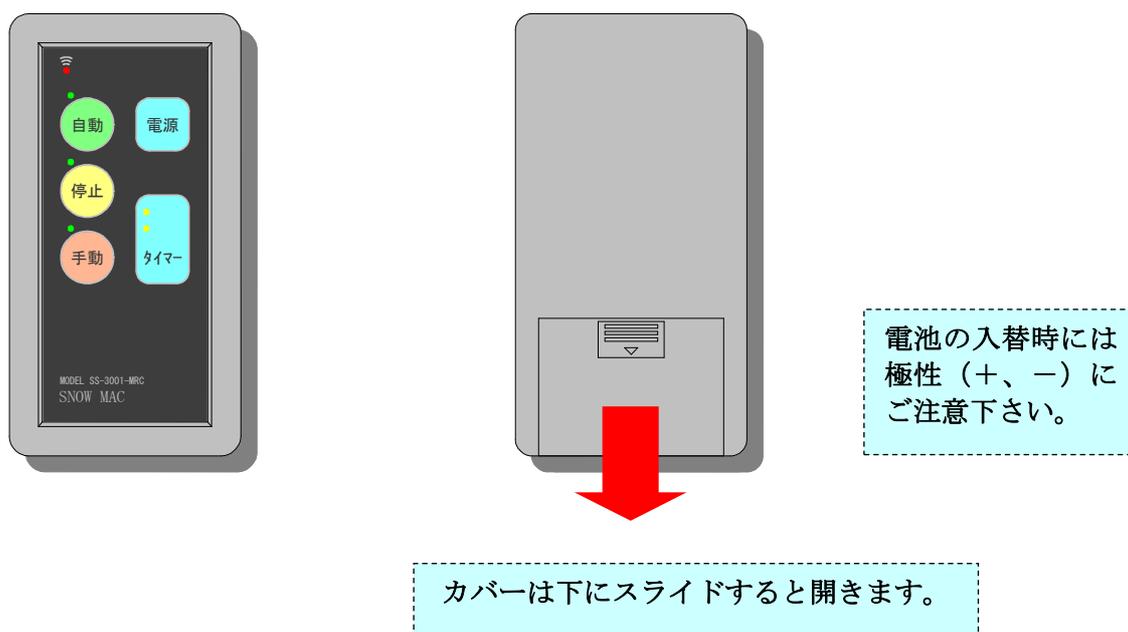


番号	名称	おもな働き
1	電源押釦キー	1秒間押すと電源が入り、通信を開始します。
2	通信中ランプ (緑) (赤)	通信中は緑表示ランプが点滅し、運転中は赤表示ランプ点灯します。橙点滅は電池交換のお知らせです。
3	自動押釦キー	自動運転を選択するときに押します。
4	自動表示ランプ (緑)	自動運転が有効になった時、緑表示ランプ点灯します。
5	手動押釦キー	手動運転を選択するときに押します。
6	手動表示ランプ (緑)	手動運転が有効になった時、緑表示ランプ点灯します。
7	停止押釦キー	停止を選択するときに押します。
8	停止表示ランプ (緑)	停止が有効になった時、緑表示ランプ点灯します。
9	タイマー押釦キー	タイマー運転を選択するときに押します。キーは押すごとに1時間→2時間→解除→1時間となります。
10	タイマー表示ランプ (黄)	タイマー運転が有効になった時、黄表示ランプ点灯します。1時間、2時間の選択ができます。
11	電池ボックス	電池が収納されています。ガバーを下にスライドして開けて電池を交換して下さい。(単三アルカリ電池2本)
12	操作パネル	操作キー、表示ランプが装備されています。

3. 機器の取付け・接続

(1) リモコン部

- ① リモコンは室内でご使用下さい。
- ② リモコン部の電池カバーを開けて、単三アルカリ電池2本を入れご使用ください。
- ③ 電池が消耗すると通電中表示が橙色に変わり消耗をお知らせします、通信中のランプが橙色に変わりましたら、電池の交換をして下さい。
- ④ 壁に取り付ける場合は同梱のリモコン取付ブラケット（型）MRC-SBをご使用下さい。



【リモコン操作の良い場所】

リモコン通信は無線電波で行っていますので、環境などの影響を受けます。操作性の良い場所や注意点を例にあげますので操作の参考にしてください。

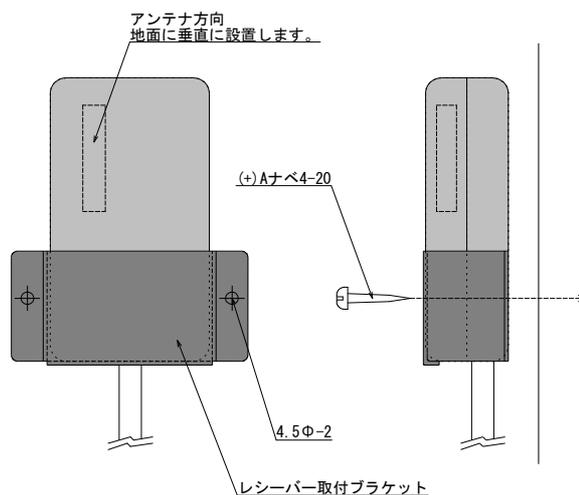
- 1、レシーバーの近くで操作する。
- 2、窓の近くで操作する。
- 3、電化製品より離れて操作する。
- 4、パソコンより離れて操作する。
- 5、通信状況が悪いと感じたら、向きや高さを変えて操作する。
- 6、リモコンは垂直に立てて操作する。
- 7、地下室は操作不能となりますので避けてください。
- 8、障害物がなければ100mはなれても通信可能です。

【壁への固定について】

壁に固定して取り付ける場合は同梱品のリモコン取付ブラケット（型）MCR-SBを所定の場所へ取り付けしてください。

(2) レシーバー部の設置と注意事項

- ① レシーバー部は防水構造になっており、屋外での使用が可能です。
- ② レシーバー本体は地面に垂直に立てて設置してください。
- ③ 信号の受信状況により設置場所の変更をすることがありますので、受信テストを行ってから設置作業をしてください。
- ④ 金属板からは出来るだけはなして設置してください。
- ⑤ ノイズの発生する可能性がある場所や配線からは出来るだけ離してください。



【壁に設置する場合】

付属のレシーバーブラケットをネジで壁に固定してください。

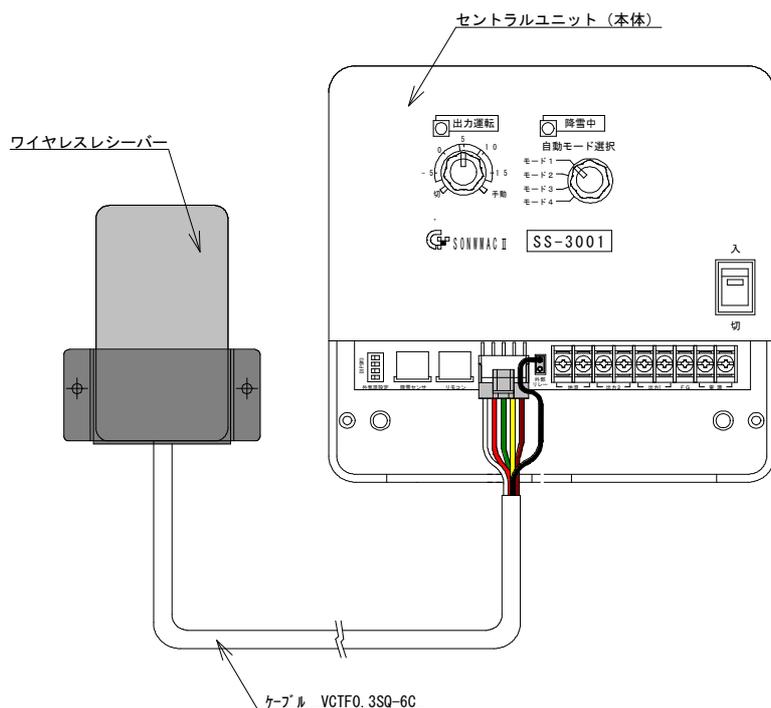
ネジは (+) A ナベ4-20 が2本付属していますが、壁の構造に合わせてネジを準備してください。

【制御盤に取り付ける場合】

制御盤の内部に収納する場合、スチール製のボックスは信号が低下する恐れがありますので、ボックスの外に取り付けてください。

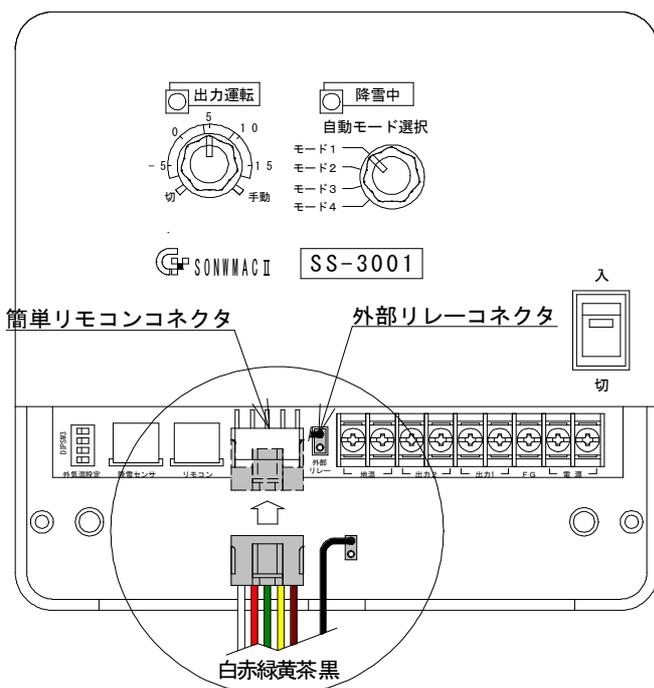
プラスチック製のボックスは扉の内側などに強力な両面テープで貼り付けてください。

(3) レシーバー部の配線・接続



【レシーバー部の配線・接続】
 ワイヤレスレシーバーの付属ケーブルの先にはコネクタが着いています。
 5P のコネクタは簡単リモコンコネクタへ接続し、2P コネクタは外部リレーコネクタへ接続してください。

【ケーブルの延長】
 付属ケーブルは 1m です。
 短い場合は同等ケーブルで延長してください。
 ケーブルは VCTF0.3SQ-6C です。
 色を間違わぬよう注意してください。
 接続部の絶縁、防水は充分行ってください。
 色を間違えて接続すると機器が破損する恐れがあります。



ワイヤレスコネクタの5Pのものは簡単リモコンコネクタに接続し、2Pのものは外部リレーコネクタに接続してください。

【コネクタの接続のポイント】

5Pコネクタ
 5Pコネクタは図のように白線を左側、茶線を右側に向けて、そのまますぐ入れてください。
 (抜く場合はツマミの下をつかみストッパーがはずれようになら下へ抜きます。)

2Pコネクタ
 2Pコネクタは基板に垂直に立っているスタンドタイプです。黒線が上になるように奥に差し込んでください。
 (抜く場合は線のなるべく下を持ち手前に引っ張ってください。)

4. 試運転確認の方法

【試運転確認の方法】

〔手順1〕 接続を確認する。

レシーバー部分のコネクタの接続を再度、確認してください。
コネクタの方向、ゆるみ、はずれがないかを確認してください。
リモコンに単三電池を入れてください。
電池の向きを間違わないように注意してください。

〔手順2〕 電源を投入する。

セントラルユニットの電源を入れてください。
温度設定ツマミを自動位置(通常設定温度位置4~9℃の間)にしてください。

〔手順3〕 通信を確認する。

- ① リモコンの電源を入れて通信します。
- ② 手動モードに設定し、セントラルユニットが作動するか確認します。

近くでの通信確認が出来ましたら、所定の場所より操作確認を行ってください。

〔手順4〕 通信不良の場合

所定の場所からの操作で、通信不良が発生する(自動、手動、停止のランプが同時点滅)場合はレシーバーの位置を変えて確認を行ってください。
通信可能な場所が決まったら、再度設置しなおしてください。(以下、手順1から再度確認してください。)

通信距離は障害物のない場所で100mですが、RC構造や地下、鉄板などで覆われている場合は通信できない場合があります。
通信可能な場所までレシーバーを引き出してください。

【リモコン操作の良い場所】

リモコン通信は無線電波で行っていますので、環境などの影響を受けます。
操作性の良い場所や注意点を例にあげますので操作の参考にしてください。

- 1、レシーバーの近くで操作する。
- 2、窓の近くで操作する。
- 3、電化製品より離れて操作する。
- 4、パソコンより離れて操作する。
- 5、通信状況が悪いと感じたら、向きや高さを変えて操作する。
- 6、リモコンは垂直に立てて操作する。
- 7、地下室は操作不能となりますので避けてください。
- 8、障害物がなければ100mはなれても通信可能です。

5. 操作の仕方

【基本的な使用手順】

本製品はスノーマックⅡ（型）SS-3001の専用リモコンです。
ワイヤレス（無線）にて本体の運転モードの変更、設定を行うことができます。
基本手順は以下の通りです。

- ① リモコンの電源を入れる
- ② 運転モードと運転状況が表示されます。
- ③ 変更、設定したいキーを押し、運転モードを設定します。（自動、手動、停止、タイマー運転）
- ④ リモコンは送受信を行い、確定します。（3～5秒）
- ⑤ 20秒間操作がなければ自動的にリモコンの電源は消えます。

(1) 自動運転モードに設定する。

例では停止から自動へ変更設定する場合を説明しています。

操作キー・表示ランプ	操作・確認	備考
	電源キーを1秒以上押すと、通信を開始します。	
	通信を開始すると通信中ランプが点滅を行います。	(※1) 通信を開始して応答が無い場合や信号が受信できない場合は自動、手動、停止ランプが3つ同時に点滅を行います。
	通信が正常に完了すると、通信中ランプは消え、本体の現在の運転モードをお知らせします。	本体が運転中の場合は通信ランプが赤く点灯します。 
	本体が停止モードの場合、停止表示ランプが点灯します。 現在停止モード	この時、停止中にもかかわらず、運転中の表示をした場合は本体が手動運転の可能性があります。本体を確認して下さい。
 	本体の運転モードの確認が終わったら、次に自動キーを押します。 自動表示ランプが点灯し、送信を行います。	
 	通信が正常に終わると、通信中ランプは消え、現在の運転状況を表示します。	本体が運転中の場合は通信ランプが赤く点灯します。 

以上で本体は停止モードから自動モードへ変更となりました。

(※1) 通信不良の場合は自動、手動、停止表示ランプが3つ同時点滅します。通信不良となった場合は少し時間をおいてからもう一度操作してください。

2～3回行っても不良となる場合は施工店か弊社までお問合せ下さい。

(2) 手動運転モードに設定する。

例では自動から手動へ変更設定する場合を説明します。

操作キー・表示ランプ	操作・確認	備考
	電源キーを1秒以上押すと、通信を開始します。	
	通信を開始すると通信中ランプが点滅を行います	(※1) 通信を開始して応答が無い場合や信号が受信できない場合は自動、手動、停止ランプが3つ同時に点滅を行います。
	通信が正常に完了すると、通信中ランプは消え、すぐに本体の現在の運転状況をお知らせします。	本体が運転中の場合は通信ランプが赤く点灯します。停止の場合は消灯します。 
	本体が自動モードの場合、自動表示ランプが点灯します。 現在自動運転モード	この時、自動中にもかかわらず、停止の場合は本体が制御条件により停止しています。
 	本体の運転モードの確認が終わったら、次に手動キーを押します。 手動表示ランプが点灯し、送信を行います。	
 	通信が正常に終わると、通信中ランプは消え、現在の運転状況を表示します。	本体が運転中の場合は通信ランプが赤く点灯します。停止の場合は消灯します。 

以上で本体は自動モードから手動モードへ変更となりました。

(※1) 通信不良の場合は自動、手動、停止表示ランプが3つ同時点滅します。通信不良となった場合は少し時間をおいてからもう一度操作してください。

2～3回行っても不良となる場合は施工店か弊社までお問合せ下さい。

(3) 停止モードに設定する。

例では手動から停止へ変更設定する場合を説明します。

操作キー・表示ランプ	操作・確認	備考
	電源キーを1秒以上押すと、通信を開始します。	
	通信を開始すると通信中ランプが点滅を行います	(※1) 通信を開始して応答が無い場合や信号が受信できない場合は自動、手動、停止ランプが3つ同時に点滅を行います。
	通信が正常に完了すると、通信中ランプは消え、すぐに本体の現在の運転状況をお知らせします。	本体が運転中の場合は通信ランプが赤く点灯します。停止の場合は消灯します。 
	本体が手動モードの場合、手動表示ランプが点灯します。 現在手動運転モード	この時、手動中にもかかわらず、停止表示の場合は本体が停止状態になっている可能性があります。本体を確認して下さい。
 	本体の運転モードの確認が終わったら、次に停止キーを押します。停止表示ランプが点灯し、送信を行います。	
 	通信が正常に終わると、通信中ランプは消え、現在の運転状況を表示します。	本体が運転中の場合は通信ランプが赤く点灯します。停止の場合は消灯します。 

以上で本体は手動モードから停止モードへ変更となりました。

(※1) 通信不良の場合は自動、手動、停止表示ランプが3つ同時点滅します。通信不良となった場合は少し時間をおいてからもう一度操作してください。

2～3回行っても不良となる場合は施工店か弊社までお問合せ下さい。

(4) タイマーモードで運転する。

例では自動モードからタイマーモードの設定をする場合を説明します。

【操作のポイント】

タイマーモードは手動モードからは設定できません。

タイマー運転が完了し終わったときにどのモードに戻すかを決め、そのモードからタイマーモードを設定します。

一旦、自動または停止のモードに設定してからタイマーモードの1時間、2時間を選択します。

タイマー運転完了後はタイマーモードの前に設定していたモードに戻ります。

自動→タイマー→完了後→自動へ戻ります。停止→タイマー→完了後→停止へ戻ります。

操作キー・表示ランプ	操作・確認	備考
	電源キーを1秒以上押すと、通信を開始します。	
	通信を開始すると通信中ランプが点滅を行います	(※1) 通信を開始して応答が無い場合や信号が受信できない場合は自動、手動、停止ランプが3つ同時に点滅を行います。
	通信が正常に完了すると、通信中ランプは消え、すぐに本体の現在の運転状況をお知らせします。	本体が運転中の場合は通信ランプが赤く点灯します。停止の場合は消灯します。 
	本体が自動モードの場合、自動表示ランプが点灯します。 現在自動運転モード	この時、自動中にもかかわらず、停止の場合は本体が制御条件により停止しています。
 ○ 1時間 ● 2時間 タイマー	次にこの状態でタイマーキーを押すと、タイマー選択され通信を開始します。タイマーキーは一度押すと1時間、もう一度押すと2時間が選択できます。さらにもう一度押すと解除されます。約2秒後に自動的に通信を開始します。	タイマーキーは押す毎に 1時間 → 2時間 → 解除 → 1時間 と繰り返します。 キーの押す間隔が長いと通信を開始しますので間隔をあけずに設定してください。
 通信中	通信が正常に終わると、通信中ランプは消え、現在の運転状況を表示します。	本体が運転中の場合は通信ランプが赤く点灯します。停止の場合は消灯します。 

以上で本体は自動モードからタイマーモード2時間へ設定されました。

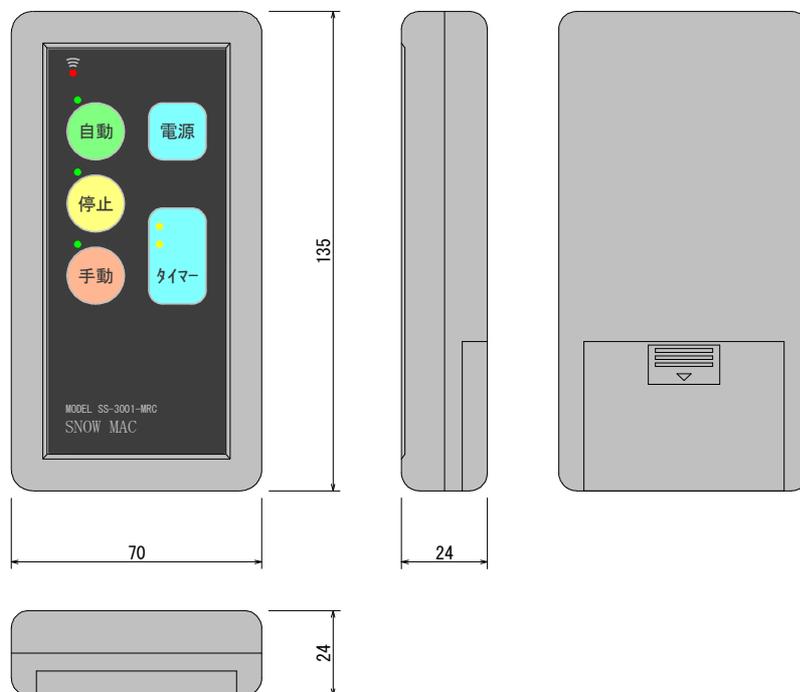
タイマーモード完了後は自動モードから操作設定したので自動モードへ戻ります。

(※1) 通信不良の場合は自動、手動、停止表示ランプが3つ同時点滅します。通信不良となった場合は少し時間をおいてからもう一度操作してください。

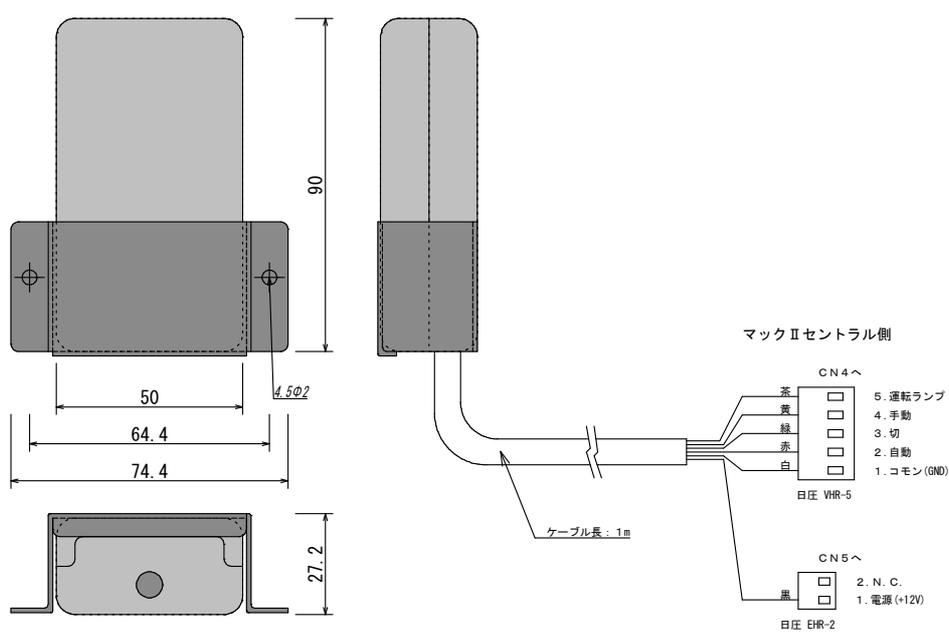
2～3回行っても不良となる場合は施工店か弊社までお問合せ下さい

6. 外形寸法図

(1) リモコン部 SS-3001-MRC-S



(2) レシーバー部 (型) SS-3001-MRC-R



7. トラブルシューティング

リモコンでの送受信ができない場合は下記の項目に注意して処置、対策をしてください。
通信不良の場合はリモコンの自動、手動、停止の表示ランプが同時に点滅します。

手順	処置確認	チェック欄
チェック 1	電池の確認	
(1)	電池は消耗していませんか。 通信中ランプが橙色にかわりましたら電池交換時期です。電池を交換し再度操作してください。	
(2)	電池の極性間違いはありませんか。 極性間違いは機器の破損につながります。 電池の＋、－を確認してください。	
(3)	電池は新品を使用していますか。 瞬間的にパワーを必要とする場合がありますので電池は新しい単三のアルカリ乾電池をご使用下さい。	
チェック 2	電波環境や状況の確認	
(1)	リモコンを垂直に持ち操作してください。 障害物の影響で通信しにくい場合がありますので、電波が送受信しやすいようにリモコンは垂直に立てて操作してください。	
(2)	リモコンの向きや高さを変えて操作してみてください。 障害物の影響で通信しにくい場合がありますので、電波が送受信しやすいように向きや高さを変えて操作してみてください。	
(3)	窓の近くで操作してみてください。 電波状況や環境の変化により通信状況が悪くなる恐れがあります。 窓の近くでは比較的影響を受けにくいので窓の近くで操作してみてください。	
(4)	パソコンや電化製品から離れて操作してみてください。 ごくまれにパソコンなどの電波によりリモコン通信が影響を受ける場合があります。 電化製品やノイズの発生しそうな機器から離れて操作してみてください。	
チェック 3	チェック 1, 2 確認で改善しない場合	
(1)	レシーバーの確認 電源が入っていますか。融雪電力などや停電によりレシーバーに電気が通電されていない場合があります。	
(2)	レシーバーの見える場所で操作してみてください。 近くで操作しても不能な場合は連続的に障害電波が入っているか機器の故障です。工事店か弊社までお問合せください。	

※その他ご不明な点がございましたら、弊社までお問合せください。